

## 令和5年度第4回岩手県地域公共交通活性化協議会 議事要旨

### 1 日時

令和6年3月8日（金）13：15～13：45

### 2 場所

盛岡市（岩手県水産会館 5階大会議室）

### 3 主な議事内容

- (1) 岩手県地域公共交通計画（案）について
- (2) 岩手県地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正について
- (3) その他

### 4 主なご意見等

- (1) 岩手県地域公共交通計画（案）について【資料1、2、3】

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 資料1の表：番号1について、意見のとおり修正いただいたと認識しているが、計画の修正を依頼した趣旨を補足する。</li><li>・ 利便増進実施計画は、より利便性、持続可能性の高い地域公共交通ネットワークへ再構築を図っていくための計画制度、そしてそれを後押しするための特例措置であるため、補助額の引き上げを目的とするような制度の活用ではなく、地域ごとのニーズを分析し、それに基づいた利便性の高い地域公共交通計画ネットワークへの再編を図ることが重要と認識しているため、文言の修正について意見をしたもの。</li><li>・ これから県の地域公共交通計画を踏まえて、各市町村で利便増進実施計画の策定を含め、路線再編等の検討が進められていくものと認識しており、東北運輸局においても、県と一緒にそうした取組を後押ししていきたいと考えているので、気軽に御相談いただきたい。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域公共交通計画を踏まえて、来年度以降、県主導で複数市町村やブロック単位の利便増進実施計画の策定と認定申請は考えていないということで良いか。</li><li>・ 先月、宮古市では、当社が協力して岩手県内では初となる利便増進実施計画の認定を受けている。また、盛岡都市圏（盛岡市、滝沢市、矢巾町）でも来年度の地域公共交通計画策定を踏</li></ul>

発言者	発言内容
事務局	<p>まえて、それ以降に利便増進実施計画の策定を検討していると聞いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当社としては、必要に応じて、関連する自治体と連携して当該計画の策定と認定取得を目指していきたいと考えているため、県の意向を確認したい。</li> </ul> <p>⇒ 利便増進実施計画の策定については、計画案の実施事業2において、市町村による地域公共交通や利便増進実施計画の策定の検討とその支援として記載しているところ。利便増進実施計画については、市街地・中心地のバス路線の集約化や定額運賃の設定などの市町村ごとの現状に応じた取組を計画としてまとめるものと認識しており、市町村において策定することが効果的・効率的と認識している。県としては、市町村の計画策定に対して、策定費用の支援や有識者の派遣を行うとともに、路線ごとのバス路線活性化検討会による生産性向上の検討などを行っており、関係者と連携し意見を伺いながら、こうした取組を通じて市町村の計画策定を促進していく。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島県内では、県と市町村が共同で利便増進実施計画を策定して認定を得ているが、岩手県としては、計画策定に対する支援のみを行っていくという理解で良いか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒ 御認識のとおり、県としては、バス路線活性化検討会などの場を活用し、関係者の意見を伺いながら、必要な支援に取り組んでいく。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盛岡都市圏の市町村（盛岡市、滝沢市、矢巾町）では来年度にかけて広域の計画策定を進めており、その議論の中で、都市圏では完結しないバス路線の再編の検討なども必要と考えている。圏域外との調整なども必要となってくると想定しているので、その際には、ぜひ県の支援をお願いできればと思う。</li> </ul>
事務局	<p>⇒ バス路線活性化検討会により、路線ごとに生産性向上の取組等の検討を行っているところ。そうした場を活用しながら、県の支援制度をどういった形で活用できるかを連携して検討するなど、必要な取組を行っていく。</p>

